

# 東京投資育成、設立から53年

# 投資先1000社突破

東京中小企業投資育成の投資残高企業数（現在投資している企業数）が27―28日付の投資分で節目となる1000社を突破する。中小企業の自己資本充実と成長を支援する国の政策実施機関として1963年（昭和38）11月に設立以来、53年目での達成となった。早期に2倍の2000社を達成するため新たな施策も展開し、引き続き優良な中小企業を後押しする構えだ。

27―28日付の投資先は、アイジーコンサルディング（浜松市中区）、栄光製作所（長野県塩尻市）、ホテルマークワン（千葉県我孫子市）など計6社。これで1000社の投資実行額の合計は384億円となる。

## 東北で政策講演

投資先の拡大や支援の充実に向け、東京中小企業投資育成は2017年度から新たに三

## 実行額 計384億円

つの取り組みを始める。まず東北経済産業局との連携を強化する。3年前から中小企業庁の参事官や課長らを招き、国の中小企業支援策のポイントを投資先企業の経営者に直接説明する政策講演会を実施している。このような交流の場を東北など東京以外の地域に拡大し、投資先企業の育成に取り組む。官民のネットワークを作り上げ、現場の悩みや要

## 成長支援、新年度3施策

望、ニーズを聞くことで国も新しい政策立案につなげられる。

### 産総研と橋渡し

さらに、産業技術総合研究所と投資先企業との協力関係強化プロジェクトをスタートする。国の研究所なども中小企業の実需と結びつけなければ自分たちの研究が生きないという背景もあり、委託共

同研究で新たな成果を生み出すためのマッチングに力を入れる。望月晴文東京中小企業投資育成社長は「伸びしろがある製造業をうまく成長させていくために、アイデアや技術を経営者に思い起こさせるきっかけにすることが大事」と説く。

### ベトナムで交流

海外進出している投資先企業向け支援では「タイ・BICミ道県であり、名古屋と大阪の投資育成会社の投資先とも現地で交流を深めることで、活性化が期待できる。



ベトナムなど、これらの活動を通じて、国の中小企業施策を効果的に反映させて有力な中小企業を掘り起こし、勝ち残る中小企業の投資育成を進めていく。